

全国スポーツクラブ会議の開催に伴う経済波及効果（速報値）について

観光庁「MICE 開催による経済波及効果測定のための簡易測定モデル（MICE 簡易測定モデル）」を活用することで、「第13回全国スポーツクラブ会議 2019 in TOKYO」（以下、全国スポーツクラブ会議）の開催に伴う「経済波及効果（生産誘発額）」、「粗付加価値誘発額」、「就業効果」、「税収効果」の算出を行う。

なお、大田区には産業連関表がないため、東京都の産業連関表を用いる。

## 1. インプットデータ

MICE 簡易測定モデルを用いて、全国スポーツクラブ会議による経済波及効果を算出する。必須である「1日当たり参加者数（日帰り・宿泊）」、「会場の展示面積」、「主催者事業費」の数値については、主催者から提供を受けた下記のものを用いる。なお、1日当たり参加者数は集計中であり、本資料では概算値を示している。

**図表 1 経済波及効果算出のための必須インプット（令和元年6月19日時点）**

1日当たり参加者数	日帰り	280人
	宿泊	250人
（展示会や見本市を併催している場合）会場の展示面積		1,600㎡
主催者事業費		10,000千円

注釈）「1日当たり参加者数（日帰り・宿泊）」は概数である。

このほか、下記の数値については参加者にアンケートを行っており、その結果を用いることで、精度の高い推計を行うことが可能であるが、現時点では回収が終わっていないため、MICE 簡易測定モデルであらかじめ設定されている地域別規定値（地域別に標準的とされる値）を用いて算出する。

**図表 2 経済波及効果算出のためのインプット（規定値）**

費目	日帰り	宿泊
1人当たり国内移動費（千円/人）	4.7	25.5
1人当たり都市内移動費（千円/人）	0.4	0.7
1人・日当たり宿泊費（千円/人・日）	0.0	8.3
1人・日当たり飲食費（千円/人・日）	0.9	2.2
1人当たり観光・娯楽費（千円/人）	0.0	0.8
1人当たり土産・買い物費（千円/人）	0.2	2.1

## 2. 算出結果（速報値）

これらの設定値を MICE 簡易測定モデルに入力したところ「全国スポーツクラブ会議」による、東京都での経済波及効果額は 124 百万円と算出された。なお、その業種別内訳として、宿泊業に 5.4 百万円、飲食店に 4.1 百万円、対事業所サービス業に 68.7 百万円の効果があったと推計される。

**図表 3 経済波及効果（生産誘発額）、粗付加価値誘発額、就業効果**

指標	全国	東京都	単位
経済波及効果（①+②+③）	187	124	百万円
総消費額	89	89	百万円
①直接効果	86	71	百万円
②間接 1 次波及効果	60	37	百万円
③間接 2 次波及効果	42	17	百万円
粗付加価値誘発額	102	63	百万円
就業効果	3,870	1,631	人・日

**図表 4 MICE 関連主要業種への経済波及効果**

主要業種	全国	東京都	単位
宿泊業	5.6	5.4	百万円
飲食店	4.8	4.1	百万円
対事業所サービス業	74.9	68.7	百万円

**図表 5 税収効果**

税区分	全国	東京都	単位
国税	16.6	10.7	百万円
都道府県税	2.2	1.7	百万円
特別区税	1.8	1.1	百万円

本資料で示した経済波及効果は、入力値に概数や規定値を用いていることから、今後の精緻化に伴い、その数値は変更される可能性があることに留意が必要である。

以上